

したやウィンドアンサンブル



上野浅草室内管弦楽団



上野浅草フィルハーモニー管弦楽団



1955年、台東区が設けた「台東区青少年吹奏楽団」が前身。創立当時は区の社会教育課直接の運営であったが、1967年、区の運営から団員による自主運営となり、これを機に「下谷ウィンド・アンサンブル」と改称。1994年、家田厚志氏を音楽監督に迎え、その成果として第18回定期演奏会ではベルリオズの「葬送と勝利の交響曲」を演奏、圧倒的な反響を呼ぶ。1996年、第20回記念定期演奏会を機に、より親しみやすい表記として現在の「したやウィンド・アンサンブル」へ改称。以降、意欲的な企画の演奏会を開催してきている。

我が団の誇るミュージック・アドバイザー陣、辻功氏、植松透氏、山田桂三氏、多戸幾久三氏、百瀬和紀氏、北村源三氏、山田徹氏からの指導を仰ぎながら、それぞれの先生方と、指揮者として、ソリストとして、共演を重ねている。

現在は春・秋の2回の演奏会を主として活動しているほか、区内の依頼演奏や有志によるアンサンブルコンサート等もやっている。

当団は上野浅草フィルハーモニー管弦楽団を前身として1987年に設立された小編成の室内オーケストラです。月2回、日曜日の夕方に浅草小学校で練習に励み、その成果を発表する場として、年2回、我が国最古の演奏会ホールである旧東京音楽学校奏楽堂で定期演奏会を開催してきました。

今回はピアニストに坂田直子氏を迎え5年ぶりにピアノ協奏曲を演奏いたします。ピアノの優しい音色にオーケストラがどれだけ寄り添えるか団員一同ワクワクしています。楽しみにして下さい。

さまざまな社会活動が制限されている昨今、音楽活動も少しずつではありますが再開されつつあります。このような時期に足を運んでいただくお客様に感謝の気持ちを、音に乗せて、少しでも伝えることができるよう演奏いたします。終演後お客様一人ひとりがほっこりとした気持ちでお帰りにられるような演奏会になりますように…

1984年に東京都台東区の音楽愛好家によって設立。

1988年には台東区の姉妹都市であるウィーン市との文化交流の一環として渡奥し、演奏会を行う。

1993年に創立10周年記念演奏会としてベートヴェンの「第九」を、日本で初演された旧東京音楽学校奏楽堂で、初演当時のスタイルと規模で演奏。

2005年に東京文化会館・第20回オーケストラフェスティバルにて、森利子バレエ団と共にチャイコフスキー「白鳥の湖」を上演。

2016年第60回記念演奏会では、すみだトリフォニーホールにて、レスピーギ「ローマの祭り」サン・サーンス交響曲第3番「オルガン付」を演奏。

年2回行われる定期演奏会では「語り」を交えたコンサートや、演奏会形式によるオペラ、バレエ団との共演を数多く行うなど、ユニークな企画を演じて、これまでに66回を数えます。

また選曲も芥川也寸志や伊福部昭など邦人の曲を取り上げたり、ブーランク、フォーレなどフランス人の作曲家ばかりのプログラムを組んだり、プロのオーケストラでもあまり取り上げないような曲にも積極的に取り組み、数あるアマチュアオーケストラの中でも、その独創性で注目されています。

【浅草公会堂】 東京都台東区浅草 1-38-6



アクセス

- つくばエクスプレス
- 東京メトロ銀座線 / 東武鉄道
- 都営浅草線

- 「浅草駅」 下車徒歩 3分
- 「浅草駅」 下車徒歩 5分
- 「浅草駅」 下車徒歩 7分

【台東区立生涯学習センター】 東京都台東区西浅草 3-25-16



アクセス

- JR 山手線・京浜東北線
- 東京メトロ日比谷線
- つくばエクスプレス
- 台東区循環バスめぐりん

- 「鶯谷駅」 下車徒歩 15分
- 「入谷駅」 下車徒歩 8分
- 「浅草駅」 下車徒歩 8分
- 「生涯学習センター北」
- 「生涯学習センター南」 ともに徒歩 3分



登録商標

東京 浅草 伝法院通り

大黒家天麩羅

電話 3844-1111・2222 公会堂隣

健康とむきあうひとときを、

もっとゆたかに、快適に

人間ドック 各種健康診断 附属クリニック

台東区総合健康診査・子宮頸がん検診・マンモグラフィ併用乳がん検診受託機関 / 全国健康保険協会生活習慣病予防健診施設
東京都台東区根岸2-19-19 JR日暮里・鶯谷駅徒歩6分
<https://www.seiokai.jp> 03-3873-9161



医療法人社団 せいおう会
鶯谷健診センター

すべての健診は男女別専用フロアで

地元応援団

+朝日。



街の鼓動に敏感です
朝日信用金庫

pannapitta
© '22 SANRIO
APPR No. L021917